

令和7年度

3 学年学習シラバス



成田市立玉造中学校

国語科学習内容		学年	3 年
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字や語句、文法などの知識・技能を理解し、説明的文章、文学的文章などの文章や小説、詩などの読み方、理解の仕方を知る。 ・ 目的や場面に応じて話す能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身につけ、考えを深めようとする態度を身につける。 ・ 目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書く能力を身につける。 	
教科・副教材など		教科書：「伝え合う言葉 中学国語 3」教育出版 副教材：「国語の学習 3」明治図書、「学習漢字ノート 3」浜島書店	
定期テスト・課題など		定期テスト（3 回）、漢字小テスト（20 回）、実力テスト（4 回） 副教材「国語の学習 3」、「学習漢字ノート 3」の提出（3 回）	
成績評価の方法		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の 3 観点を定期テスト・漢字小テスト・朝学習・授業・提出物で評価する。	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	「春に」、「立ってくる春」、「なぜ物語が必要なのか」、情報を確かめてスピーチする	
	5 月	「私」、「薔薇のボタン」、構成を工夫して主張をまとめる	
	6 月	吳音・漢音・唐音、助詞のはたらき、「メディアリテラシーはなぜ必要か」 第 1 回定期テスト	
	7 月	「AI は哲学できるか」、客観性や信頼性のある記事を書く、熟字訓、和語・漢語・外来語	
	9 月	「async—同期しないこと」、「問いかける言葉」、説得力のある批評文を書く、第 2 回定期テスト	
後期	10 月	助動詞のはたらき、実用文の情報を捉えて活かす、相手に対する配慮と表現、旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』、和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	
	11 月	風景と心情—漢詩を味わう、「最後の一句」、異字同訓、慣用句・ことわざ、俳句の味わい、「初恋」、第 3 回定期テスト	
	12 月	「故郷」、自己 PR 文を書く、コミュニケーションの場を考える、評価しながらスピーチを聞く、四字熟語	
	1 月	持続可能な未来を創るために—人間の生命・存在を考える、生命とは何か、地球は死にかかっている、水の星、「対話力」とは何か 入試対策	
	2 月	入試対策	
	3 月	入試対策	

数学科学習内容		学年	3 年
学習の到達目標		<p>⑦ 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>⑧ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。</p> <p>⑨ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につける。</p>	
教科・副教材など		教科書：未来へひろがる数学3 啓林館 副教材：DASH80、STEPUPシリーズ、入試対策テスト	
定期テスト・課題など		定期テスト(3回)、単元テスト(8回)、実力テスト(4回)	
成績評価の方法		<知識・技能> 定期テスト・単元テスト・授業・朝学習・提出物を総合的に評価 <思考・判断・表現> 定期テスト・単元テスト・授業・提出物を総合的に評価 <主体的に学習に取り組む態度> 定期テスト・単元テスト・授業・朝学習・提出物を総合的に評価	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	1 章「1 節 式の展開と因数分解」「2 節 式の計算の利用」	
	5 月	2 章「1 節 平方根」「2 節 根号をふくむ式の計算」「3 節 平方根の利用」	
	6 月	3 章「1 節 二次方程式」「2 節 二次方程式の利用」「2 節 二次方程式の利用」	
	7 月	4 章「1 節 関数 $y=ax^2$ とグラフ」「2 節 関数 $y=ax^2$ の値の変化」	
後期	9 月	「3 節 いろいろな事象と関数の利用」「	
	10 月	5 章「1 節 図形と相似」「2 節 平行線と線分の比」	
	11 月	「3 節 相似な図形の計量」「4 節 相似の利用」	
	12 月	6 章「1 節 円周角と中心角」「2 節 円の性質の利用」	
	1 月	7 章「1 節 直角三角形の 3 辺の関係」「2 節 三平方の定理の利用」	
	2 月	8 章「1 節 標本調査」	
	3 月	入試対策	

英語科学習内容		学年	3 年
学習の到達目標 (Can-Do リスト)		<聞くこと> ・社会的な話題であっても、はっきりと説明されれば、要点を理解することができる。 <読むこと> ・社会的な話題の文章を読んで、書き手がもっとも伝えたい大事な部分を理解することができる。 <話すこと〔やりとり〕> ・わからなかったことなどを聞き返したりしながら会話を続けることができる。 <話すこと〔発表〕> ・準備をすれば、聞き手を説得するスピーチやプレゼンテーションを行うことができる。 <書くこと> ・聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えを書くことができる。	
教科・副教材など		教科書：ONE WORLD English Course 3 教育出版、ジョイフルワーク 3	
定期テスト・課題など		定期テスト（3回）、小テスト、実力テスト（5回）、ダブドリ、ワーク	
成績評価の方法		<知識・技能> 定期テスト・小テスト・授業・朝学習・提出物を総合的に評価 <思考・判断・表現> 定期テスト・小テスト・Speaking Test・授業・提出物を総合的に評価 <主体的に学習に取り組む態度> 定期テスト・小テスト・授業・朝学習・提出物を総合的に評価	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	Review Lesson 「Washoku, or Japanese Cuisine」 Lesson1 「Aya's Homestay in Vancouver」	
	5 月	Lesson2 「The Eagles of Hokkaido」	
	6 月	Lesson3 「Space Tourism」	
	7 月	Project1 「The Best Product Ever」, Speaking Test	
	9 月	Lesson4 「People Who Support Success」	
後期	10 月	Lesson5 「Be Yourself」	
	11 月	Lesson6 「Why do We Have to Work?」, Project2 「If I were you,・・・」	
	12 月	Lesson7 「Debating Doggy Bags」	
	1 月	Project3 「Let's Try Debating」, 入試対策演習	
	2 月	Reading 「My Prayer for Peace」, 入試対策演習	
	3 月	入試対策演習	

社会科学学習内容		学年	3 年
学習の到達目標		歴史：文化や文明の発展について理解する。 事象について、多面的・多角的に思考することができる。 公民：現代社会の仕組みについて理解する。 現代社会の諸課題について多面的・多角的に考察することができる。	
教科・副教材など		教科書：新しい社会（歴史）（公民）東京書籍 副教材：よくわかる社会の学習（公民） トラスト 入試対策教材：千葉県 BEST 全 1 2 回	
定期テスト・課題など		定期テスト 3 回、実力テスト 5 回、e ライブラリ	
成績評価の方法		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の 3 観点を定期テスト・単元テスト・朝学習・授業・提出物で評価する。	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	歴史：第二次世界大戦と日本	
	5 月	歴史：戦後日本の出発 冷戦と日本の発展	
	6 月	歴史：新たな時代の日本と世界 公民：現代社会の特色と私たち	
	7 月	公民：私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方	
	9 月	公民：人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障	
後期	10 月	公民：現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治と私たち	
	11 月	公民：消費と市場経済 生産と労働 市場経済の仕組みと金融	
	12 月	公民：財政と国民の福祉 これからの経済と社会 国際社会の仕組み	
	1 月	公民：さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本	
	2 月	入試対策	

理科学習内容		学年	3 年
学習の到達目標		<p>自然・科学の現象を日常生活や社会と関連付けながら、その規則性やその現象について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けることができる。</p> <p>観察や実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、その特徴や規則性を見いだして表現することができる。</p> <p>自然・科学の現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、自然・科学を総合的に見ることができる。</p>	
教科・副教材など		<ul style="list-style-type: none"> ・未来へひろがるサイエンス（啓林館）・理科便覧（浜島書店） ・よくわかる理科の学習（明治図書） 	
定期テスト・課題など		<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（全 3 回） ・実力テスト（全 4 回） ・よくわかる理科の学習（定期テスト前に提出） ・朝学習の確認テスト 	
成績評価の方法		<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の確認テスト ・小テスト ・定期テスト ・実験レポート <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実験レポート <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・実験レポート ・授業中の発表 ・提出物（ノート） ・振り返りシート（ロイロノート） 	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	生物のふえ方と成長	
	5 月	遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化	
	6 月	水溶液とイオン、電池とイオン	
	7 月	酸・アルカリと塩	
	9 月	力の合成と分解、物体の運動	
後期	10 月	仕事とエネルギー、多様なエネルギーとその移り変わり	
	11 月	エネルギー資源とその利用、宇宙の天体	
	12 月	太陽と恒星の動き、月と金星の動きと見え方	
	1 月	自然界のつり合い、さまざまな物質の利用と人間、科学技術の発展	
	2 月	人間と環境、持続可能な社会を目指して、入試対策	
	3 月	入試対策	

音楽科学習内容		学年	3 年
学習の到達目標		歌唱や器楽の演奏による「表現」、映像や音声を視聴する「鑑賞」、リズムや旋律の「創作」をバランスよく学習し、音楽を様々な角度から楽しむ力を育む。	
教科・副教材など		音楽のおくりもの（中学音楽 23 下・中学器楽）コーラスフェスティバル	
定期テスト・課題など		授業内確認テスト・実技テスト・タブレットによる提出物	
成績評価の方法		<知識・技能> 歌唱や器楽の基本的な演奏方法の習得（実技テスト） <思考・判断・表現> 基本的演奏技能を元にした表現の工夫（実技テスト）や、楽曲鑑賞における考察と文章表現（提出物） 創作課題（提出物） <主体的に学習に取り組む態度> 自ら積極的に発声したり声を掛け合ったりして、クラス全体に良い影響を与えられるような前向きな姿勢が見られ、粘り強い努力と調整によって技能や思考力を獲得できているか。	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	自己紹介 発声練習 学年合唱曲	
	5 月	「ブルタバ」鑑賞 「バレエ」表現	
	6 月	合唱コンクール全校合唱曲 課題曲	
	7 月	合唱コンクール自由曲	
	9 月		
後期	10 月	「展覧会の絵」鑑賞	
	11 月	タブレットを使った旋律とリズムの創作 ギターコード 箏	
	12 月	卒業関連の合唱曲	
	1 月	歌舞伎「勧進帳」鑑賞	
	2 月		

美術科学習内容		学年	3 学年
学習の到達目標		① 水墨画について学び、「玉造戯画」をテーマにアイディアを膨らませ、水墨の技法を活用して描くことができる。 ② 金工の歴史について学び、安全で持ちやすいデザインについて考えることができる。道具や機械を安全に扱い、理想とする形に作品を加工することができる。 ③ モダンテクニックや表現技法を自分の絵画に生かし、感情を幅広く捉え、色や表現を工夫して描くことができる。自他の作品の良いところや工夫点を見つけ、お互いに鑑賞することができる。	
教科・副教材など		美術 2・3、スケッチブック、アクリル絵の具、水墨画セット ペーパーナイフセット	
定期テスト・課題など		定期テストなし／反省カード・作品制作・アイディアスケッチ 鑑賞カード・忘れ物チェック	
成績評価の方法		＜知識・技能＞ ・基本的な知識・技能の習得（道具の使い方・技法の使い方・作品採点） ＜思考・判断・表現＞ ・知識・技能に基づいた発想力、構想力、構成力、表現力の習得（アイディアスケッチ・作品採点） ・見通しを持って表現する能力の習得（反省カード） ＜主体的に学習に取り組む態度＞ ・主体的に授業に取り組む姿勢（忘れ物チェック、2 分前着席、提出物） ・独自のアイディアを持ち、毎時間の制作を反省し、表現を伝える能力の習得（作品採点、反省カード、鑑賞カード）	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	玉造戯画～水墨画絵巻～（絵画）	
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	9 月	想いを開く～ペーパーナイフのデザイン～（金工）	
後期	10 月		
	11 月		
	12 月		
	1 月	鑑賞会	
	2 月	心を描く～モダンテクニックを使った抽象表現～（絵画）	
	3 月		

保健体育科学習内容		学年	3 年
学習の到達目標		<体育> ・技能習得ポイントを理解し、練習に取り組みながら基本的技能を身に付けることができる。 <保健> ・健康な生活と病気の予防、健康と環境について学び、学んだことを実生活に生かすことができる。	
教科・副教材など		中学校保健体育（大日本図書）保健学習ノート（正進社） 図解体育（大修館書店）	
定期テスト・課題など		第2回定期テスト 第4回定期テスト 技能テスト（各種目ごと適宜）	
成績評価の方法		<知識・技能> ・授業内でのスキル（技能テスト含む） ・筆記テスト（保健） ・個人の記録やゲームでの活躍 <思考・判断・表現> ・学習カードへの記載内容（振り返り） ・技能習得段階（練習）への取組 ・授業内での仲間へのアドバイスの内容 <主体的に学習に取り組む態度> ・授業に取り組む姿勢 ・欠席、見学 ・集団的種目への仲間意識 ・課題解決への取り組み	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	集団行動 新体力テスト	
	5 月	陸上競技：三種競技（走り幅跳び、投擲、走り高跳び）体育祭練習	
	6 月	ダンス：創作ダンス 水泳	
	7 月	ダンス：創作ダンス 水泳	
	9 月	武道：剣道 球技：バレーボール	
	保健	文化としてのスポーツの意義 健康な生活と病気の予防	
後期	10 月	武道：剣道 球技：バレーボール、サッカー	
	11 月	球技：サッカー 陸上競技：長距離走	
	12 月	陸上競技：長距離走	
	1 月	体づくり運動 球技：バドミントン 卓球 ソフトボール	
	2 月	球技：バドミントン 卓球 ソフトボール	
	3 月	球技：バドミントン 卓球 ソフトボール	
	保健	健康な生活と病気の予防 健康と環境	

科学習内容		学年	3 年
学習の到達目標		<p>技術分野：身のまわりにある情報の技術を利用した製品を調べる活動を通して、身近にある情報の技術について理解し、生活における課題を情報の技術を用いて解決することができる。</p> <p>家庭分野：家族、幼児の生活または地域の生活の中から問題を見いだし、課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践することができる。</p>	
教科・副教材など		<p>教科書：技術・家庭 技術分野（開隆堂）および 家庭分野（開隆堂）</p> <p>副教材：総合資料集</p>	
定期テスト・課題など		実習・単元の振り返り	
成績評価の方法		<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の取り組み、パフォーマンステスト、製作品 ・定期テスト、小テスト ・実習のレポート <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作品 ・実習のレポート <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の振り返りシート ・実習のまとめ 	
授業計画		学習内容	
学期	月		
前期	4 月	家 A 家族・家庭と子どもの成長 幼児とのかかわり	
	5 月	家 A 家族・家庭と子どもの成長 幼児とのかかわり	
	6 月	家 A 家族・家庭と子どもの成長 幼児とのかかわり	
	7 月	家 A 家族・家庭と子どもの成長 幼児とのかかわり	
	9 月	技 D 情報 計測・制御のプログラミングによる問題解決	
後期	10 月	技 D 情報 計測・制御のプログラミングによる問題解決	
	11 月	技 D 情報 計測・制御のプログラミングによる問題解決	
	12 月	技術 D 社会の発展と情報の技術	
	1 月	技・家の複合による問題解決	
	2 月	技・家の複合による問題解決	